

2021年3月期 第1四半期決算説明会



スズキ株式会社

2020.8.3

第1四半期実績 … 減収減益

		当期 ('20/4-6)	前期 ('19/4-6)	増	減	補足
					増減率	
連 結 業 績 (億 円)	売上高	4,253	9,075	▲4,822	▲53.1%	2期連続減収
	営業利益 (利益率)	13 (0.3%)	627 (6.9%)	▲614	▲97.9%	2期連続減益
	経常利益 (利益率)	145 (3.4%)	724 (8.0%)	▲579	▲80.0%	2期連続減益
	当期純利益* (利益率)	18 (0.4%)	405 (4.5%)	▲387	▲95.6%	2期連続減益

- ・売上高減少 … 新型コロナウイルス影響により売上高半減
- ・営業利益減益 … 売上高半減により大幅減益
- ・経常利益減益 … 金融収支増により減益幅は縮小
- ・当期純利益減益 … 新型コロナウイルス関連損失▲154億円を特別損失に計上

世 界 販 売 (千 台)	四輪車	263	738	▲474	▲64.3%	インド、日本、欧州、パキスタン、アセアン等、各地で減少
	二輪車	274	455	▲181	▲39.8%	北米、中国で増加したものの、インド、欧州等で減少

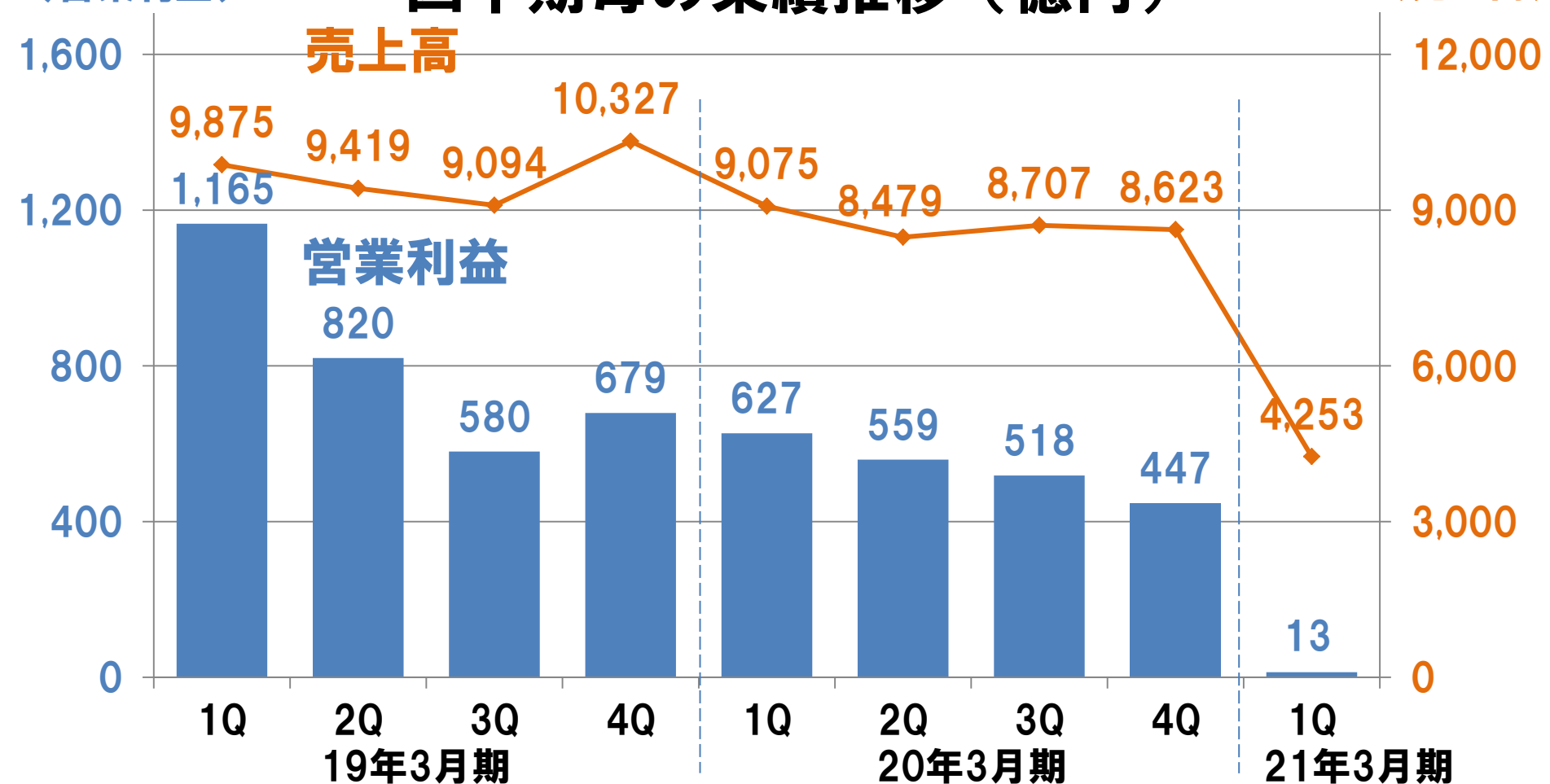
※当期純利益は親会社株主に帰属する四半期純利益

新型コロナウイルスの影響により大幅な減収減益

(営業利益)

四半期毎の業績推移 (億円)

(売上高)



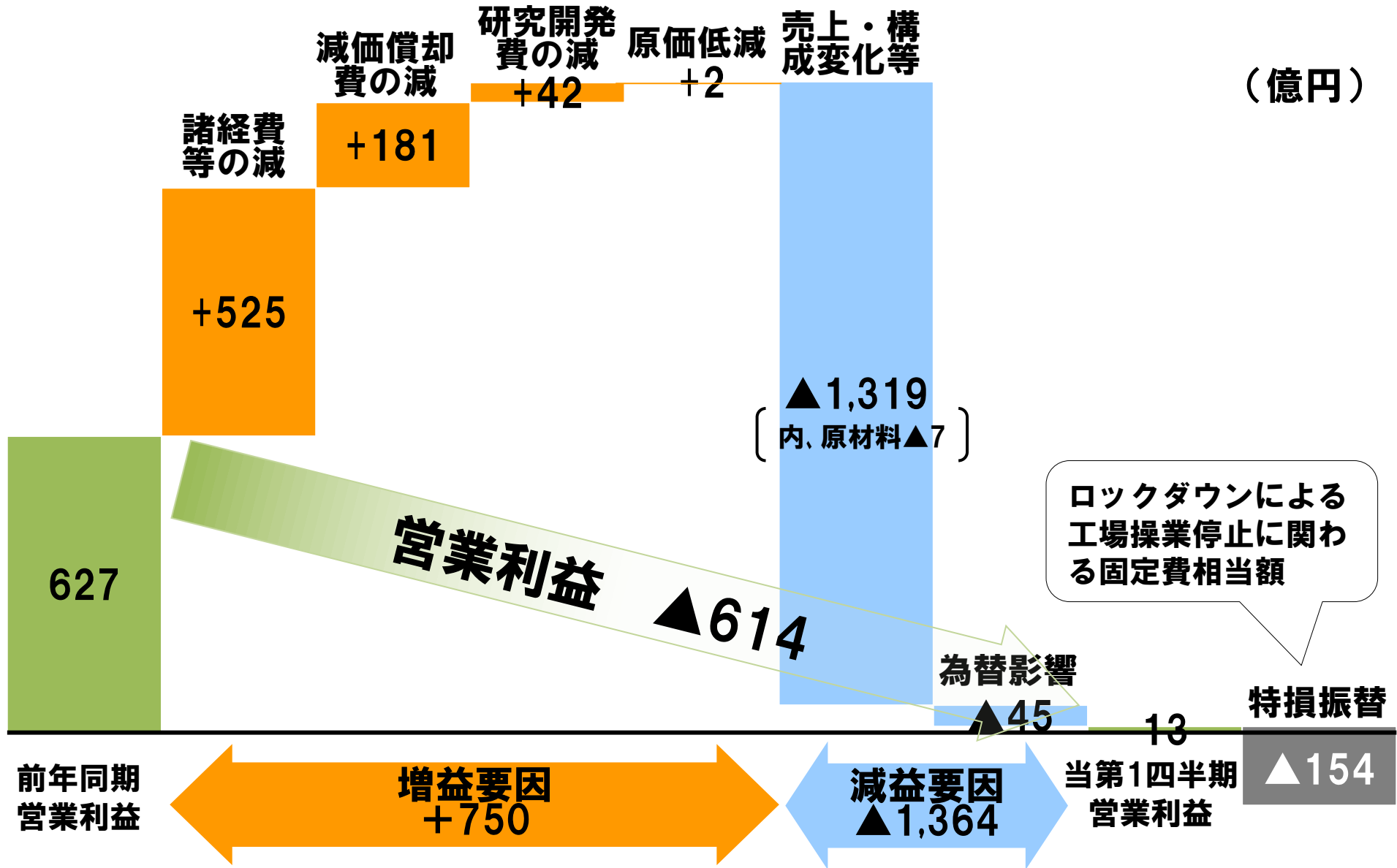
新型コロナウイルスの影響により各地で減少

(億円)	四輪			二輪			マリン他			合計			内、為替 換算影響
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	
国内計	2,038	2,815	▲777	50	57	▲7	36	39	▲3	2,124	2,911	▲787	
自社	1,917	2,589	▲672	50	57	▲7	36	39	▲3	2,003	2,685	▲682	
OEM	121	226	▲105							121	226	▲105	
海外計	1,637	5,356	▲3,719	299	599	▲300	193	209	▲16	2,129	6,164	▲4,035	▲143
欧州	558	1,247	▲689	72	119	▲47	47	63	▲16	677	1,429	▲752	▲30
北米	3	2	+1	85	72	+13	107	109	▲2	195	183	+12	▲5
アジア	849	3,645	▲2,796	85	327	▲242	26	15	+11	960	3,987	▲3,027	▲77
インド	482	2,830	▲2,348	24	157	▲133	1	1	▲0	507	2,988	▲2,481	▲59
"以外	367	815	▲448	61	170	▲109	25	14	+11	453	999	▲546	▲18
その他	227	462	▲235	57	81	▲24	13	22	▲9	297	565	▲268	▲31
総合計	3,675	8,171	▲4,496	349	656	▲307	229	248	▲19	4,253	9,075	▲4,822	▲143
内、為替 換算影響			▲121			▲16			▲6			▲143	

注. 当期…2020年4～6月期、前期…2019年4～6月期、北米…米国・カナダ、北米四輪車…部品用品等

連結：営業利益増減要因

(億円)

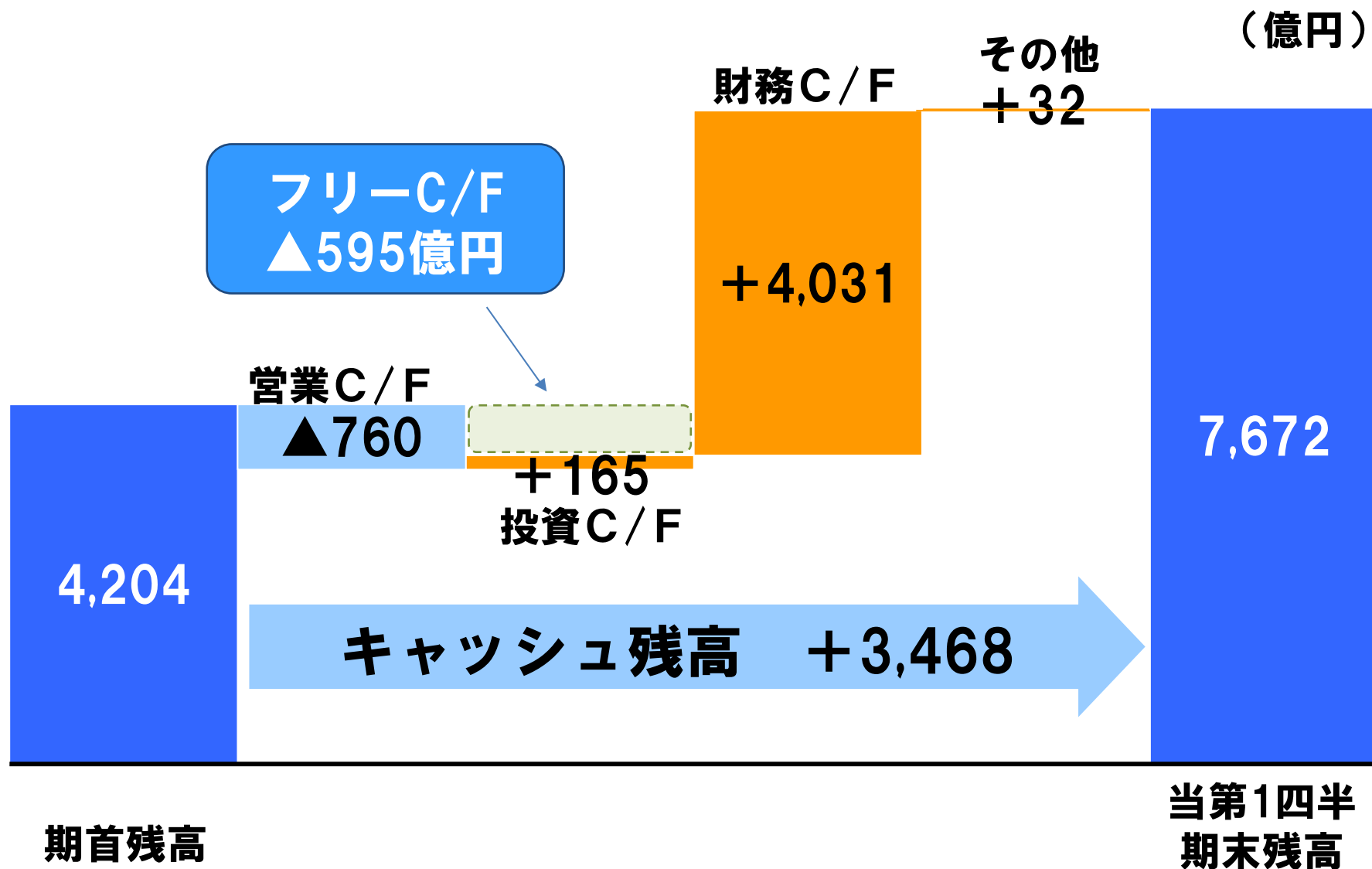


	当第1四半期 (’20/4-6)	前年同期 (’19/4-6)	増 減	営業利益 為替影響
米ドル	108円	110円	▲2円	▲3億円
ユーロ	119円	123円	▲4円	▲9億円
インドルピー	1.43円	1.59円	▲0.16円	▲15億円
インドネシアルピア (100ルピア当り)	0.73円	0.77円	▲0.04円	▲0億円
タイバーツ	3.37円	3.48円	▲0.11円	+1億円
パキスタンルピー	0.66円	0.75円	▲0.09円	▲1億円
その他	—	—	—	▲18億円 ※
計				▲45億円

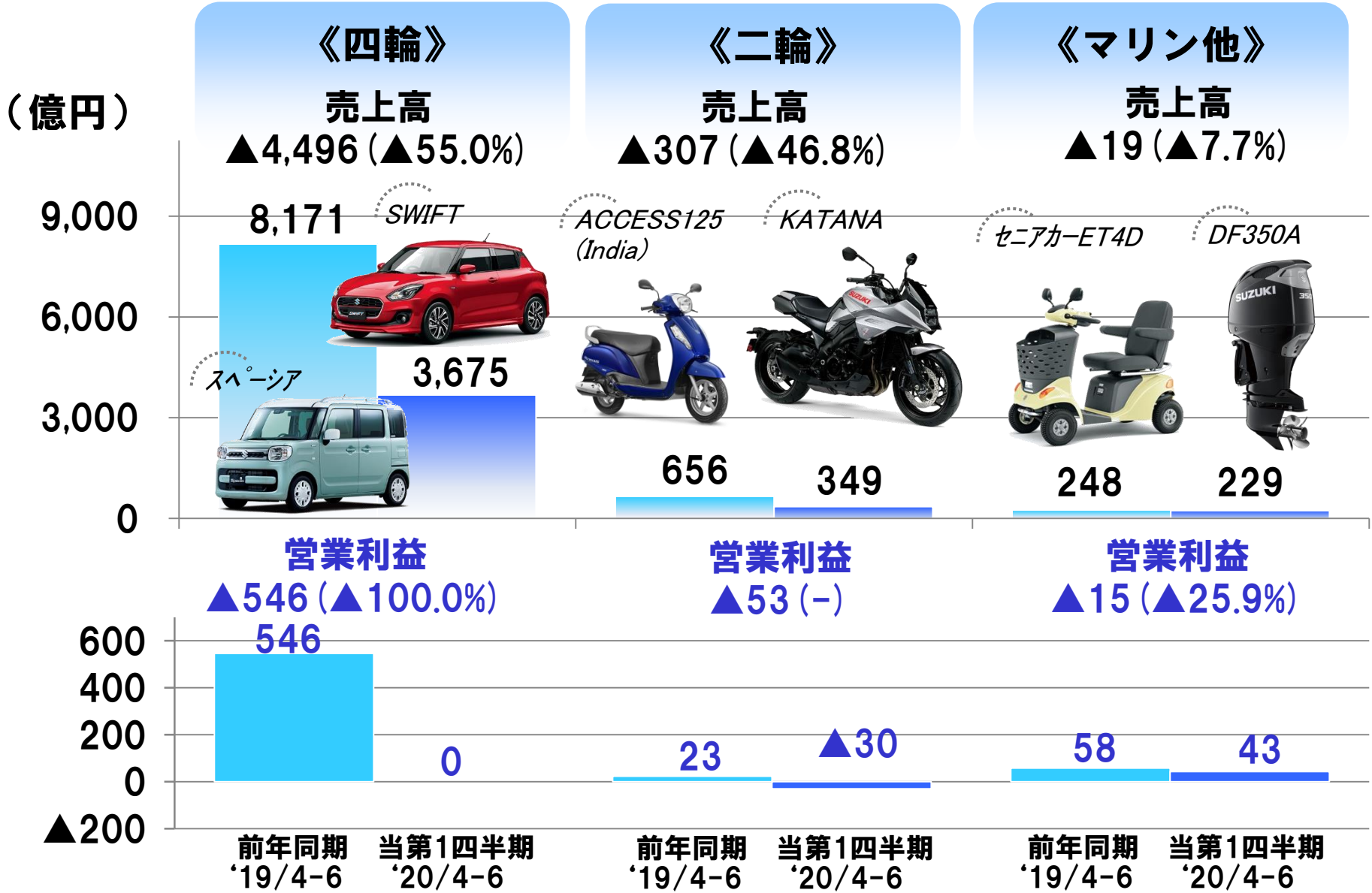
※メキシコペソ▲6億円、南アフリカランド▲3億円、英ポンド▲2億円、豪ドル▲2億円 他

	当第1四半期 ('20/4-6)	前年同期 ('19/4-6)	増減
(当社単独)	137億円	131億円	+6億円
(子会社)	206億円	468億円	▲262億円
設備投資	343億円	599億円	▲256億円
減価償却費	303億円	391億円	▲88億円
研究開発費	302億円	344億円	▲42億円

	当第1四半期末 ('20/6末)	前第1四半期末		前期末	
		('19/6末)	増減	('20/3末)	増減
有利子負債残高	8,216億円	3,770億円	+4,446億円	4,042億円	+4,174億円
連結子会社数	127社	129社	▲2社	127社	±0社
持分法適用 関連会社数	28社	28社	±0社	28社	±0社
従業員数	70,292人	69,141人	+1,151人	68,499人	+1,793人

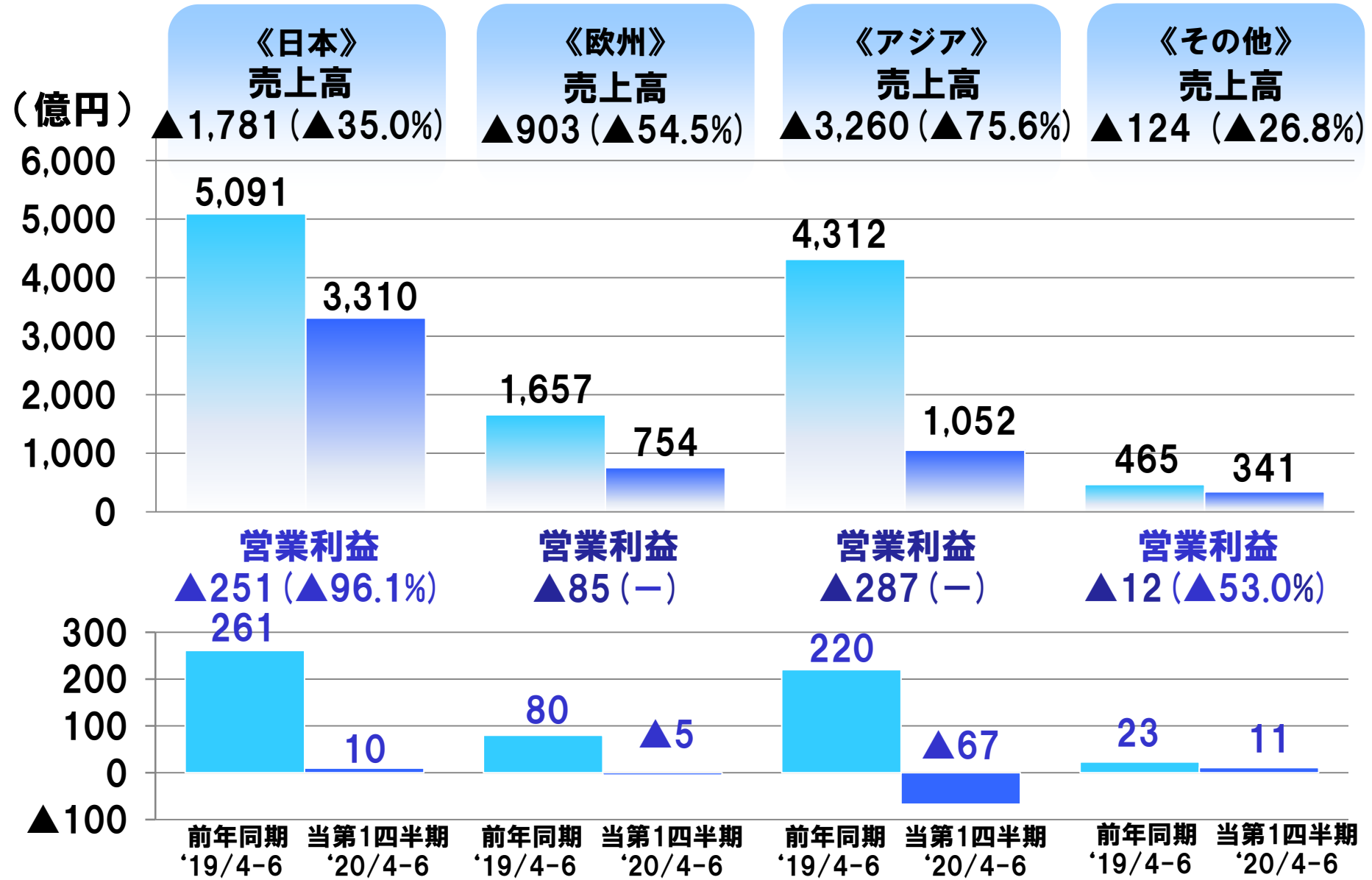


連結：事業別業績 (売上高・営業利益)





連結：所在地別業績 (売上高・営業利益)



		ルピー建（億ルピー）※1			円換算額（億円）		
		当第1四半期	前第1四半期	増減	当第1四半期	前第1四半期	増減
連結業績	売上高	368	1,874	▲1,506	526	2,979	▲2,453
	営業利益※2	▲165	113	▲278	▲236	180	▲416
	（利益率）	（▲44.8%）	（6.0%）		（▲44.8%）	（6.0%）	
	税前利益	▲37	185	▲222	▲53	295	▲348
	（利益率）	（▲10.0%）	（9.9%）		（▲10.0%）	（9.9%）	
	当期純利益	▲27	138	▲165	▲38	219	▲257
	（利益率）	（▲7.3%）	（7.3%）		（▲7.3%）	（7.3%）	
	為替レート	1.43円	1.59円	▲0.16円			
卸販売	国内販売※3	67千台	374千台	▲307千台			
	輸出	10千台	28千台	▲19千台			
	合計	77千台	403千台	▲326千台			

※1. ルピー建は、7月29日付でマルチ・スズキ・インディア社が発表した連結業績値

※2. 営業利益は次式により算出
Sales of product
+ Other operating revenues
- Total Expenses
+ Finance costs

※3. 国内販売はOEMを含む

インド、日本、パキスタン等の減により前年割れ

《世界生産》

▲523千台 (▲69.3%)

755

(千台)

アジア 64

インド 413

欧州 51

日本 227
内、完成車 224

232

17
54
14

147
内、完成車 144

前年同期
'19/4-6

当第1四半期
'20/4-6

《世界販売》

▲474千台 (▲64.3%)

738

(千台)

その他 44

アジア 82

インド 370

欧州 75

日本 167

263

20
35
66
36

106

前年同期
'19/4-6

当第1四半期
'20/4-6

●世界販売 263千台 (▲64.3%)

- ・日本 106千台 (▲36.5%)
- ・インド 66千台 (▲82.1%)
- ・欧州 36千台 (▲52.4%)
- ・アジア 35千台 (▲57.1%)

(内訳)

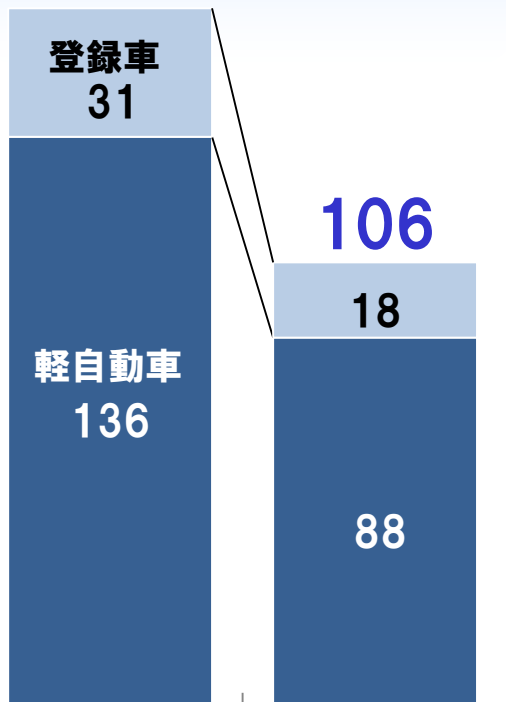
- インドネシア 9千台 (▲62.8%)
- パキスタン 8千台 (▲75.7%)
- タイ 5千台 (▲29.5%)
- フィリピン 2千台 (▲70.1%)
- 中国 5千台 (▲13.0%)
- ミャンマー 2千台 (▲32.5%)
- その他 5千台 (▲7.3%)
- ・その他 20千台 (▲53.8%)

() 内は前年同期比増減率

新型コロナウイルス感染拡大による影響により前年割れ

《第1四半期比較》

▲61千台（▲36.5%）
167（千台）



●当期の日本販売

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う生産や販売活動への影響により前年割れ

軽自動車 88千台（前年同期比▲ 35.4%）

登録車 18千台（ ” ▲ 41.4%）

計 106千台（ ” ▲ 36.5%）

前年同期
'19/4-6

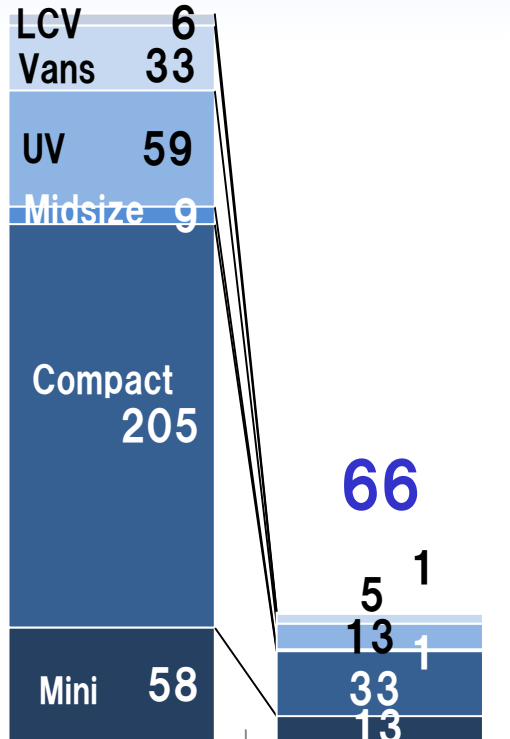
当第1四半期
'20/4-6

新型コロナウイルス感染拡大による影響により大幅減

《第1四半期比較》

▲304千台（▲82.1%）

370（千台）



前年同期
'19/4-6

当第1四半期
'20/4-6

●インドの状況

- ・インド政府による行政命令に従い、安全を最優先に段階的に販売店、工場の稼働を開始
- ・販売は5月初旬から徐々に販売店稼働を再開
- ・工場再開時期は次の通り
 - 5月12日…マネサール工場
 - 5月18日…グルガオン工場
 - 5月25日…グジャラート工場
 } 段階的に再開
- 6月29日…マネサール工場で2勤交替制再開
- 7月 6日…グルガオン工場で2勤交替制再開
(グジャラート工場は8月中に2勤交替制再開予定)
- ・インドでの新型コロナウイルス感染者は日々、増加し、収束の目途はたっていない



出勤時の消毒



出勤時の体温測定



休憩所へのパーテーション設置



食堂の亚克力板設置



フェイスシールド・仕切板使用



構内の定期消毒



足踏み式水道の設置



事務所の感染防止対策



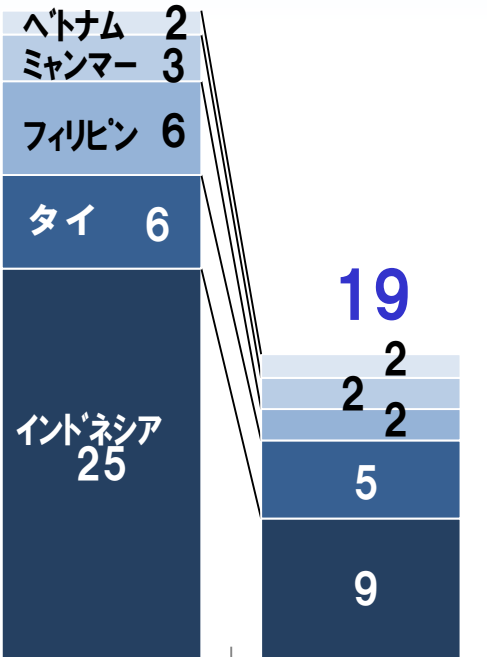
販売店への入庫時消毒

新型コロナウイルス影響もあり大幅減

《第1四半期比較》

▲22千台（▲53.6%）
（千台）

42



前年同期 当第1四半期

'19/4-6 '20/4-6

●当期のアセアン販売

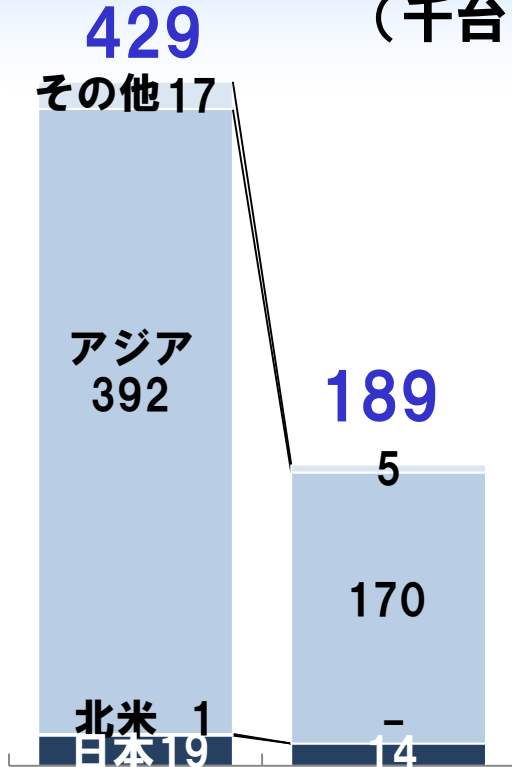
- ・アセアン5ヶ国※合計で19千台
（前年同期比▲53.6%）
各国での新型コロナウイルス感染拡大防止策の実施により大幅減
- ・インドネシアは4月10日以降、「大規模社会制限」発令を受け、生産、販売活動を停止、縮小した影響で前年同期比▲62.8%
- ・フィリピンは「ルソン島隔離措置」発令など外出制限実施により前年同期比▲70.1%
- ・タイは「非常事態宣言」が発令されたが、感染者減少により経済活動制限を緩和
（前年同期比▲29.5%）
- ・ミャンマーは3月25日から5月11日まで「自動車登録事務所停止」により、前年同期比▲32.5%

※ アセアン：インドネシア、タイ、フィリピン、ミャンマー、ベトナム 5ヶ国合計

生産・販売ともに大幅減

《生産実績》

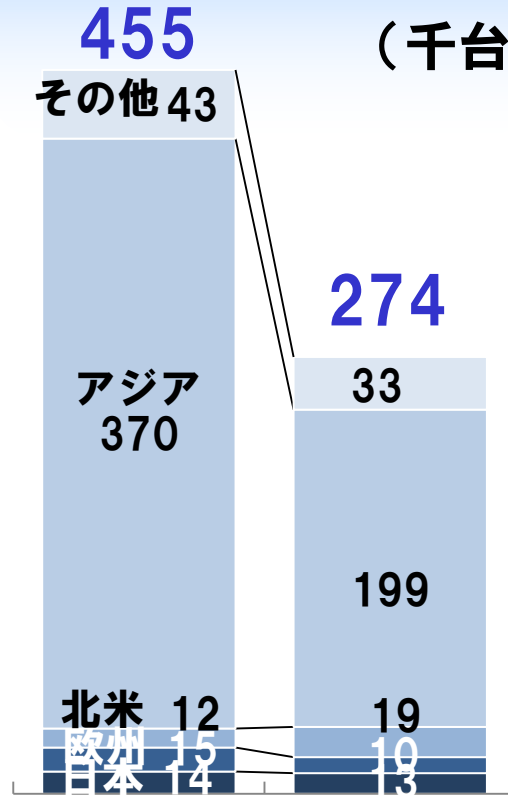
▲240千台 (▲56.0%)
(千台)



前年同期 '19/4-6
当第1四半期 '20/4-6

《販売実績》

▲181千台 (▲39.8%)
(千台)



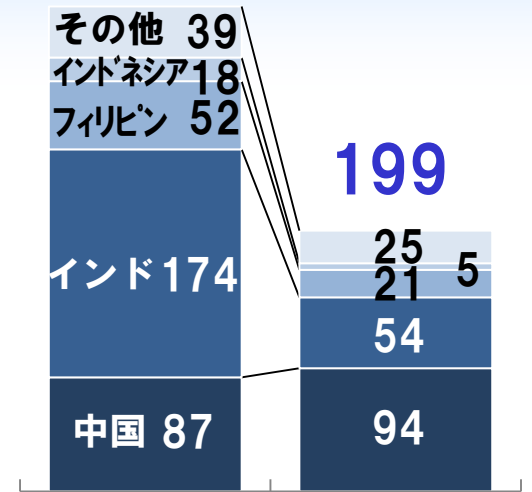
前年同期 '19/4-6
当第1四半期 '20/4-6

●当期の二輪車販売

- ・北米、中国を除き前年割れ
- ・特にインドが大幅減▲119千台

《アジアの販売内訳》

▲171千台 (▲46.2%)
370



前年同期 '19/4-6
当第1四半期 '20/4-6

- **当社が主力とするインドでの新型コロナウイルス感染が拡大しており、現時点で見通しを合理的に算出することが困難であることから、連結業績予想につきましては引き続き未定とさせていただきます。**

2021年3月期 第1四半期決算説明会



スズキ株式会社

将来予想に関する注意事項

※このプレゼンテーション資料に記載した将来予想は、現時点で入手可能な情報及び仮定に基づき当社が判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

※実際には、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。

※実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済情勢及び需要の動向、為替相場の変動(主に米ドル／円相場、ユーロ／円相場、インドルピー／円相場)などが含まれます。